

NSG

GROUP

NSG グループ

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

吉川 恵治

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2015年3月期通期業績見通し

事業状況

まとめ

要点：2013年4月－2014年3月



- 通期業績は見通しどおり達成
- 主要なリストラ施策は完了し、その効果も発現
- 市場状況は概ね安定的
- コスト削減により営業利益改善

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2015年3月期通期業績見通し

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 通期	13年3月期 通期	前年比
売上高	6,061	5,213	16%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益 償却費*	224 (79)	90 (70)	
個別開示項目前営業利益	145	20	
個別開示項目	(138)	(192)	
営業利益(損失)	7	(172)	
金融費用(純額)	(181)	(162)	
持分法による投資利益	10	23	
税引前損失	(164)	(311)	
当期損失	(165)	(335)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(176)	(343)	
EBITDA	544	375	45%

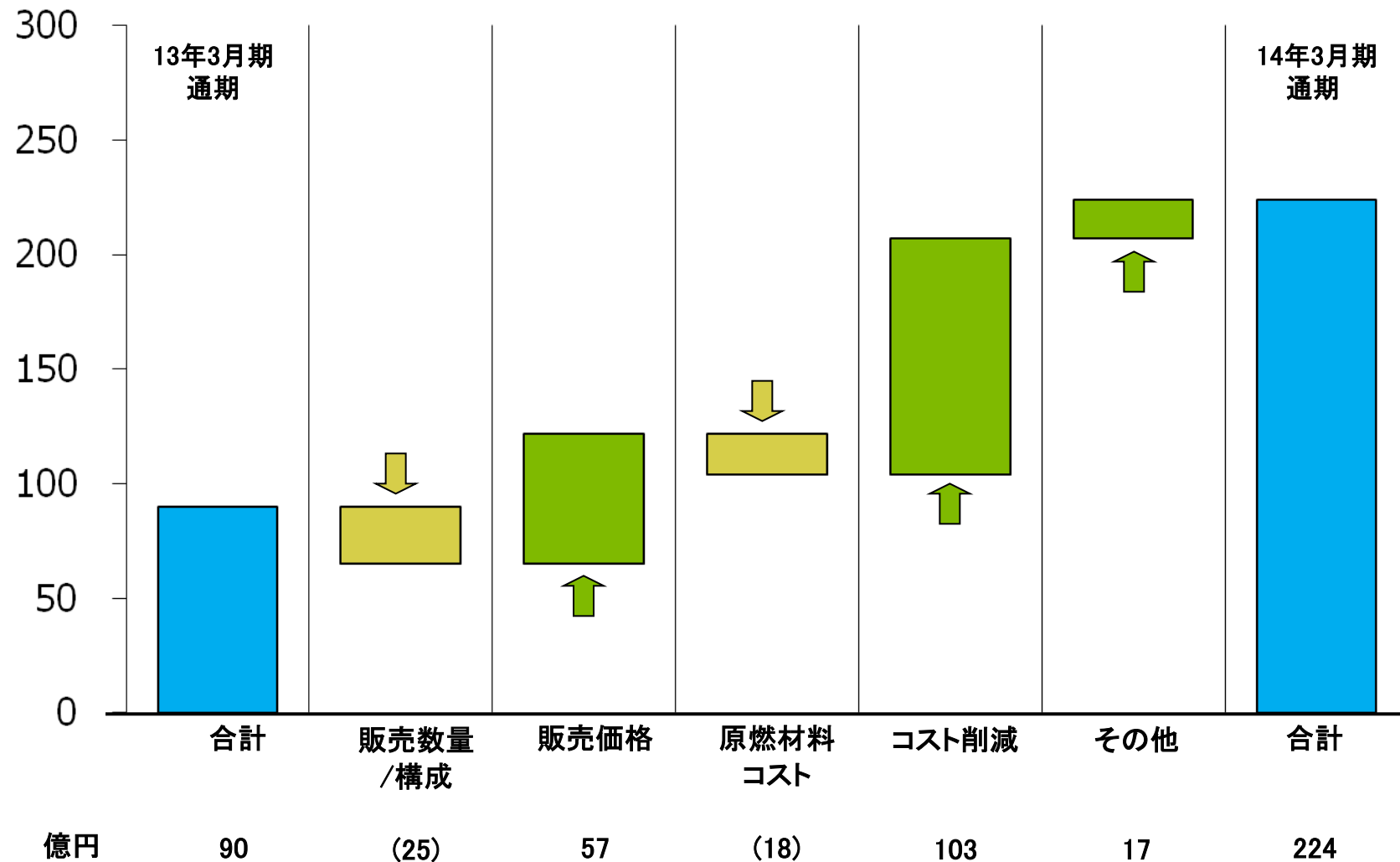
*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと+2%

コスト削減により営業利益改善

個別開示項目前営業利益差異分析

(無形資産償却前)



概ね安定的な市場とコスト削減を反映し利益改善

連結キャッシュ・フロー



<u>(億円)</u>	<u>14年3月期</u> <u>通期</u>	<u>13年3月期</u> <u>通期</u>
当期損失	(165)	(335)
減価償却費	404	366
運転資本の増減	152	217
法人所得税支払額	(37)	(60)
その他	(175)	(46)
営業活動によるキャッシュ・フロー	179	142
固定資産の取得	(257)	(256)
その他	86	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	(171)	(70)
フリー・キャッシュ・フロー	8	72

主要財務指標(KPI)



	<u>2014年3月末</u>	<u>2013年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,791	3,608
ネット借入/EBITDA	7.0x	9.6x
ネット借入/純資産比率	2.2	2.3
	<u>2014年3月期 通期</u>	<u>2013年3月期 通期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.7x	3.0x
営業利益率*	3.7%	1.7%
*無形資産償却と個別開示項目前営業利益		

収益改善を反映したKPI

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2015年3月期通期業績見通し

事業状況

まとめ

2015年3月期通期業績予想



(億円)

売上高

無形資産償却と個別開示項目前営業利益

償却費*

個別開示項目前営業利益

個別開示項目

営業利益

金融費用(純額)

持分法による投資利益

税引前利益(損失)

当期利益(損失)

親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

2015年3月期 見通し	2014年3月期 実績
6,200	6,061
290	224
(80)	(79)
210	145
0	(138)
210	7
(190)	(181)
30	10
50	(164)
20	(165)
10	(176)

市場は徐々に改善し、収益増加

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)



アジェンダ

要点

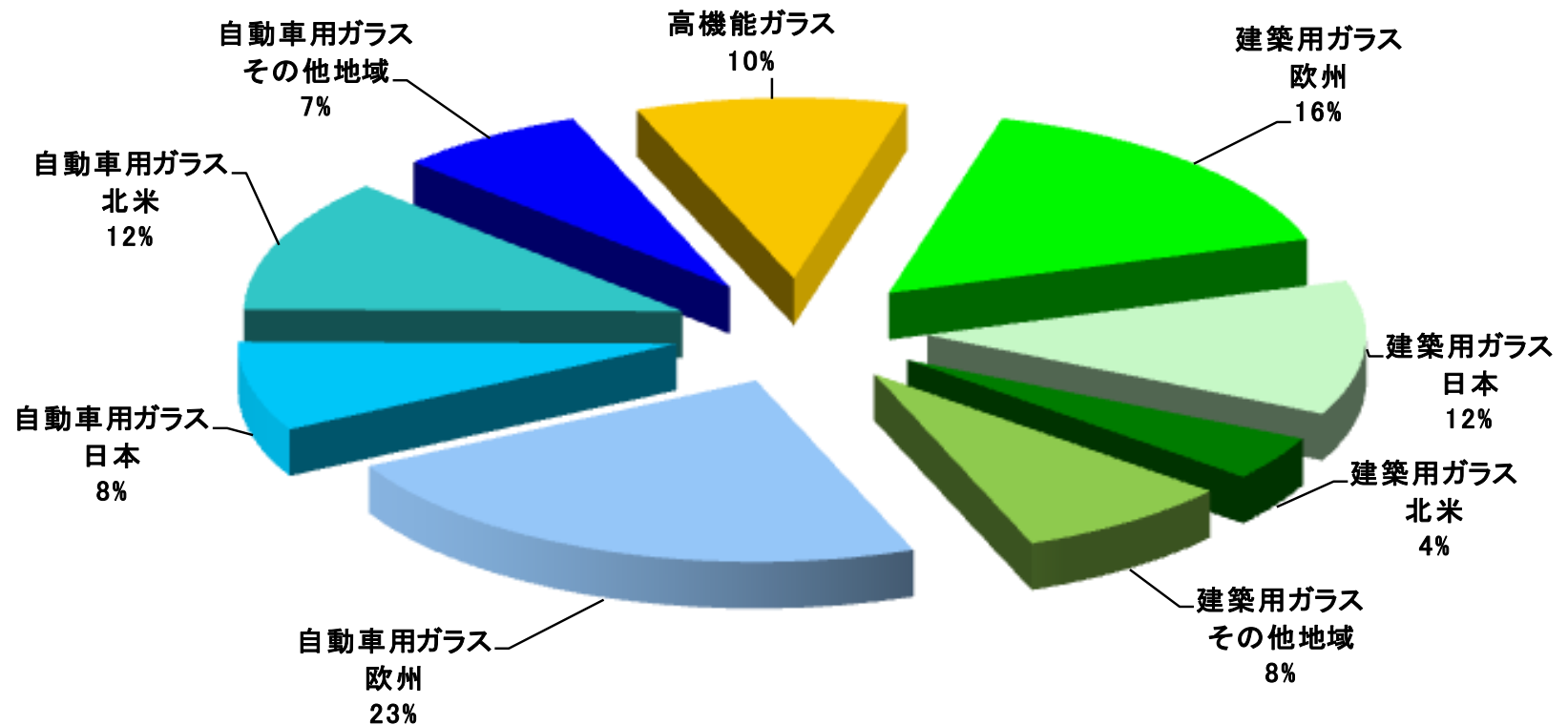
決算概要

2015年3月期通期業績見通し

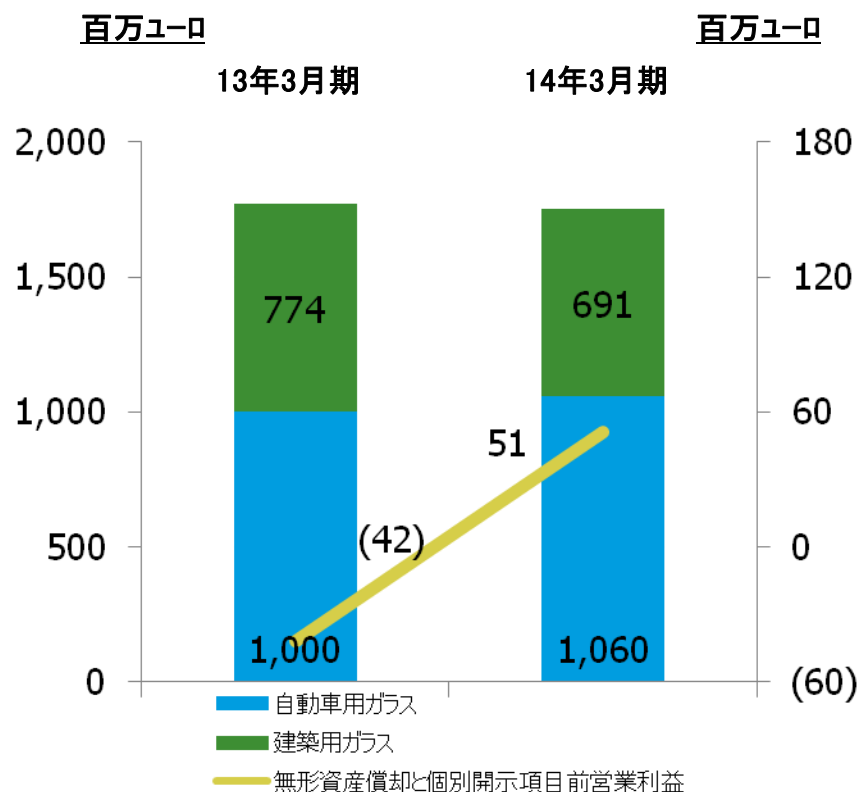
事業状況

まとめ

6,061億円



2014年3月期
(2013年4月－2014年3月)



建築用ガラス事業

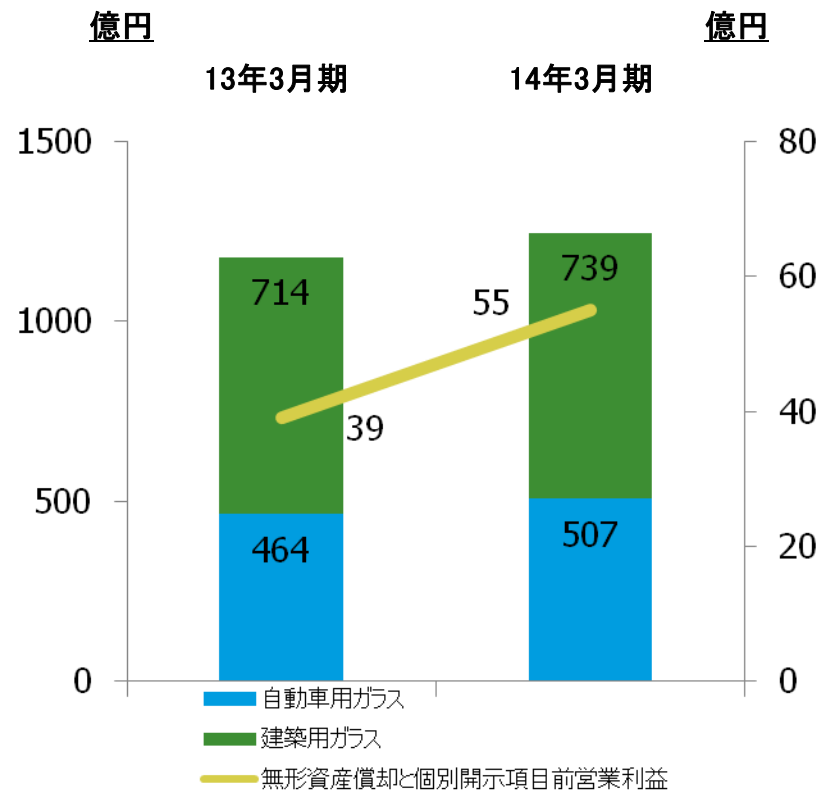
- 市場状況は安定
- 当社累積販売数量は低稼働設備の停止に伴い前年比減少
- コスト削減と稼働率向上により収益改善

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの数量は安定的。下期において回復の兆し
- リストラ施策により利益改善
- 補修(AGR)用ガラスは需要増加

日本

2013年3月期通期との比較

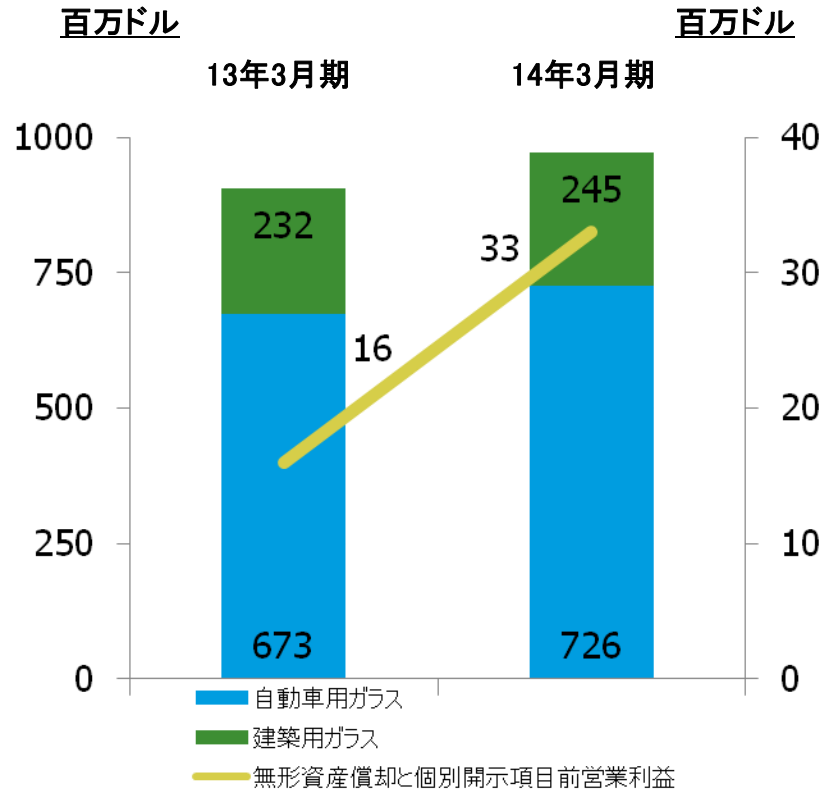


建築用ガラス事業

- マーケット指数はポジティブ
- 燃料コスト増加により減益

自動車用ガラス事業

- 円安が完成車輸出を後押し
- 消費税増税前の駆け込み需要により売上増
- 数量増加とコスト削減により増益



建築用ガラス事業

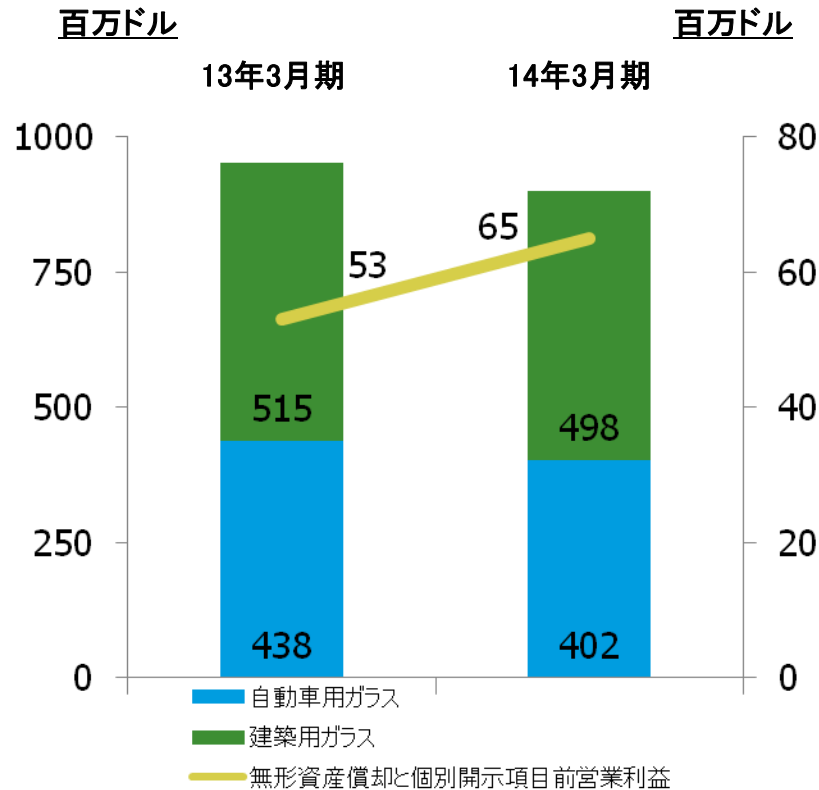
- ソーラー用ガラスの需要減は国内需要増加により相殺
- 国内価格水準は前年度を上回る

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラス、補修(AGR)用ガラス共に増収増益
- OE市場の数量は前年度を上回る
- AGRは厳冬により需要増加

その他地域

2013年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

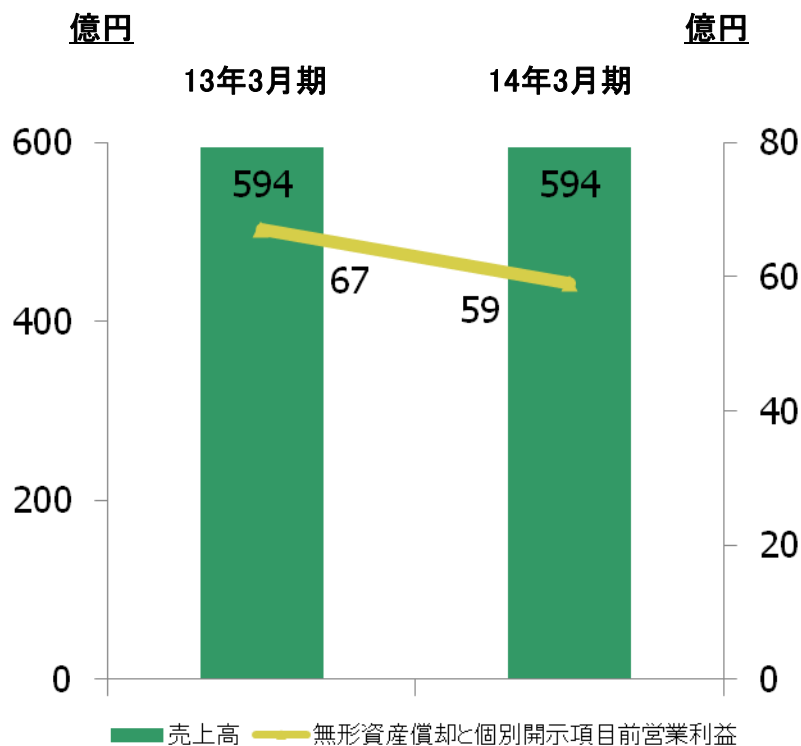
- 南米および東南アジアは市場状況改善
- 需要増加により増益

自動車用ガラス事業

- 現地通貨ベースでは数量増加により増収
- 数量の伸びは年度末に向けて低下

高機能ガラス事業

2013年3月期通期との比較



高機能ガラス事業

- 数量減は円安効果によって相殺され、売上高は横ばい
- オフィス向けプリンター用レンズとガラスコードは市場状況改善
- 設備の定期修繕のため薄板ガラスは数量減少

持分法適用会社

2013年3月期通期との比較



億円	<u>14年3月期</u> <u>通期</u>	<u>13年3月期</u> <u>通期</u>
持分法による投資利益	10	23

- セブラセは需要増により利益改善
- 中国のジョイント・ベンチャーや関連会社の業績は前年度に比べ改善
- コロンビアでの立ち上げ費用とロシアでの当期損失により一部利益を相殺

2014年3月期通期決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

2015年3月期通期業績見通し

事業状況

まとめ

- 通期業績は見通しどおり達成
- 主要なリストラ施策は完了し、その効果も発現
- **2015年3月期は、更なる改善を想定**

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高

(2013年4月1日～ 2014年3月31日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	739	923	245	499	2,406
自動車用ガラス	507	1,416	726	402	3,051
高機能ガラス	312	79	12	191	594
その他	9	1	0	0	10
合計	1,567	2,419	983	1,092	6,061

償却前営業利益*

(2013年4月1日～ 2014年3月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	109	112	59	(56)	224

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	53	71	27	73	224

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

	2013年3月期 通期	2014年3月期 通期	2015年3月期 通期前提
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	131	159	170
円/ユーロ	107	134	140
円/米ドル	83	100	100
期末為替レート:			
円/英ポンド	141	171	
円/ユーロ	119	141	
円/米ドル	93	103	

NSG

GROUP